

ダナン市「スプリング・ダイアローグ 2019」挨拶

2019年3月1日(金)

- ・ チュオン・クアン・ギア　ダナン市党委書記
 - ・ フィン・ドゥック・トー　ダナン市人民委員長
- ご列席の皆様

● 「The Spring Dialogue 2019」の開催にお祝いを申し上げますとともに、ダイアローグ開催に御尽力いただいた全ての関係者の皆様にお礼を申し上げます。日本政府を代表して、一言、ご挨拶申し上げます。

● 現在のベトナムは、成長のエネルギーに満ち満ちており、正に、大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えています。日本は、ベトナムがこの歴史的チャンスを活かすことが出来るよう、ベトナムとの連携を強化したい考えです。また、日本はベトナムの持続的発展が、東アジア地域全体の安定と繁栄にとって極めて重要と認識しています。

● 現在の日越関係は、指導者間の信頼関係に加え、国民間に親近感が存在しています。ダナンは、ベトナム中部の拠点として、日本にとって投資や観光という観点から重要であるだけでなく、「戦略的観点」からもとても重要です。

● 最近の日本とダナンとの関係について述べます。昨年、日本とベトナムは外交関係樹立 45 周年を迎え、日越両国で 240 以上の文化事業

が実施されました。ダナン市においても、様々な形で45周年を祝っていただきました。例えば、日本フィルハーモニー交響楽団カルテットのダナン・ホイアン交流演奏会（6月）、ダナン越日文化交流フェスティバル（7月）、ダナン市投資促進セミナー（11月、JETRO共催）等です。関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

●2月23日、ダナン市と大阪・堺市の友好都市提携覚書が締結されました。ダナン市からは、レ・ミン・チュン人民評議会副議長、レ・チュン・チン副人民委員長をはじめとする訪問団が訪日し、調印式が行われました。この提携実現には、加藤日越堺友好協会会長の大きな貢献がありました。ダナン市は、既に川崎市、横浜市、見附市、美作市といった日本の地方公共団体との交流に取り組んでおられ、堺市との連携協定は、5つ目となります。

●現在日本の国会で審議中の来年度予算案に「ダナン領事事務所新設」が含まれています。国会で了承されれば、来年1月、日本政府はダナン領事事務所を新設します。ダナン日本領事事務所開設は、観光・投資両分野での効果が期待されます。

●観光分野では、日本からのダナンへの観光客数（2017年）は、14万人超です。5年前には、日本・ダナン直行便は存在していませんでしたが、現在、週14便が就航しています。航空便が更に増加すれば、日本からの観光客数は、更に増加の余地があります。

また、日本にとってもベトナム人の訪日者を増やすことは重要です。その観点から、日本政府は、越中央及び地方政府、上場企業の幹部職

員及び家族等に対するビザ手続き緩和を3月1日から実施します。

●投資分野を見てみます。日本の昨年の対越直接投資は、約86億ドルでした。国別投資額では、一昨年、昨年と二年続けて1位でした。今年も引き続き、日本企業のベトナムへの関心は非常に高いものがあります。CPTPP発効も投資・貿易面で好影響が期待されます。ベトナムに進出する日本企業も着実に増加しています。ダナン日本商会議所に所属する日本企業数は、この5年で倍増し、現在127です。

●また、日本の海上保安庁や海上自衛隊の船が、毎年、ダナンに寄港していますが、3月5日から9日まで、海上自衛隊の練習航海部隊（約400名）が寄港します。南シナ海は、日本にとってとても重要なシーレーンです。日越両国は、南シナ海の「航行の自由」、「法の支配」等の基本的考え方を共有しています。また、日本は、ダナンを起点とする「東西経済回廊」を重視しています。

●そのほか、日本の深刻な労働力不足問題、日本語教育、公衆トイレの普及などの幅広い分野において、ダナンと日本の協力が深まっていることにも感謝を申し上げます。

●最後に、皆様の御健勝、ダナン市の更なる発展、日越関係の益々の深化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。（了）